

| 班 | 研究 題 目 | 氏 名 (*印は主幹) | 所 属 |
|-------------|--|--|--|
| 東アジア宗教儀礼研究班 | 日中近世儒学宗教思想研究 12~14世紀東部ユーラシアにおける契丹仏教の継承 東アジアにおける天文学思想の展開 福建泉州地域の道教中元普度儀礼の全容と台湾地域との地域差に関する研究 近世儒教の展開と政策論—泊園書院出身者を中心に 日本近世における中国音楽研究 —『律呂新書』を中心として— 南北朝・室町期における顕密仏教と公武政権の関係 柳芳『唐曆』逸文から見る唐代の宗教儀礼 | 傅 錫洪 ^{注2} 藤原 崇人 前原あやの 山田 明広 横山俊一郎 榎木 亨 橘 悠太 姚 晶晶 | 非常勤 非常勤 非常勤 非常勤 非常勤 準（関西大学大学院） 準（関西大学大学院） 準（関西大学大学院） |
| 非典籍出土資料研究班 | 中国周辺地域における非典籍出土資料の研究 研究総括・敦煌文書および石窟石刻資料の研究 朝鮮半島における金石資料の調査と研究 イラン系・トルコ系民族の出土資料の調査と研究 諸資料にみられる多言語の分析と研究 中央アジア出土史料による古チベット語文獻・金石文の研究 唐宋五代期における盧龍節度使の活動 —遼寧省出土墓誌群を中心に— | * 玄 幸子 ^{注3} * 篠原 啓方 ^{注4} 森部 豊 高田 時雄 岩尾 一史 新見まどか | 外国語学部教授 文学部准教授 文学部教授 委嘱（復旦大学・特聘教授） 非常勤 非常勤 |
| 比較信仰文化研究班 | 祈りの場の比較文化史的研究 西アジア・イスラーム文化圏の祈りの場の研究 ヨーロッパ・キリスト教文化圏の祈りの場の研究 南アジア・ヒンドゥー文化圏の祈りの場の研究 東アジア・仏教文化圏の祈りの場の研究 琉球文化圏の信仰空間 戦中・戦後日本洋画壇の西洋受容と宗教との関連について 日本の捕鯨における信仰と伝承のかたち イスラームにおける信仰文化・祈りの場としての「敷物」の研究 ベトナムにおける粉食文化に関する地域学的研究 —紅河デルタの村落を事例に— | * 新谷 英治 ^{注5} * 蛭川 順子 ^{注6} 野間 晴雄 森 隆男 松井 幸一 恵崎 麻美 茶谷まりえ 吉田 雄介 齋藤 鮎子 | 文学部教授 文学部教授 文学部教授 文学部教授 文学部助教 非常勤 非常勤 非常勤 準（関西大学大学院） |
| 日本文学研究班 | 日本語文化の「転化」 日本近代文学における「転化」 日本仏教説話における「転化」 日本近代文学における「転化」 日本近代文学における「転化」 日本中古文学における「転化」 ヨーロッパ表象文化の日本における「転化」 日本近代文学における「転化」 平安時代の和歌・物語における漢籍利用 非定家本三代集の研究 『源氏物語』を中心とした物語作品の享受に関する古筆資料の総合的調査と研究 奉納百首の特徴 | * 長谷部 剛 大島 薫 関 肇 増田 周子 山本 登朗 溝井 裕一 大橋 毅彦 恵阪友紀子 立石 大樹 中葉 芳子 福留 瑞美 | 文学部教授 文学部教授 文学部教授 文学部教授 文学部教授 文学部准教授 委嘱（関西学院大学文学部教授） 非常勤 非常勤 非常勤 非常勤 |
| 異西洋文化交流研究班 | 西洋の文学・言語・思想における異文化交流 辺境の中世英文学 ドストエフスキー文学の建築イメージ ピンセンテ・ウイドプロの詩学がスペイン語詩の発展において果たした役割について 1880年代から1920年代にかけてのフランス文学とスペイン・ラテンアメリカ文学の交流について 14世紀のアイルランドにおけるアングロ・ノルマン植民地に見る言語と知識の交流 西欧文化・文学に見る〈自由〉と〈自立〉 | * 和田 葉子 近藤 昌夫 鼓 宗 平田 渡 パトリック・オニール 川神傳弘 | 外国語学部教授 外国語学部教授 外国語学部教授 外国語学部教授 在外委嘱（ノースカロライナ大学チャペルヒル校教授） 客員（関西大学名誉教授） |

注1：H27.4.1~9.30 注2：H27.9.19~H28.3.31 注3：H27.4.1~9.30（主幹）、H27.10.1~H28.3.31（在外研究）

注4：H27.10.1~H28.3.31（主幹） 注5：H27.4.1~9.19（主幹） 注6：H27.9.20~H28.3.31（主幹）

『東西学術研究所紀要』投稿要領

平成20年7月28日 承認

- 1 適用の範囲
この要領は、関西大学東西学術研究所紀要（以下「紀要」という。）への投稿について適用する。
- 2 掲載の範囲
紀要には、論文、資料及びその他の情報を掲載する。
- 3 投稿原稿
 - (1) 投稿原稿（以下「原稿」という。）は、未発表のものに限り、かつ東西学術研究所の研究目的に寄与し得るものとする。
 - (2) 原稿は、和文、英文または中文を原則とし、その他、独文、仏文以外の場合は、可能な限りローマ字表記を用いることが望ましい。また、中文は、原則として旧漢字体を用いることが望ましいが、引用文献はこの限りでない。
- 4 投稿者の資格
 - (1) 投稿者は、原則として東西学術研究所研究員（委嘱研究員等を含む）とする。
 - (2) 非常勤研究員は、主幹の承認を得て投稿することができる。
 - (3) 準研究員は、研究指導教員の承認を得て投稿することができる。
 - (4) その他、特に東西学術研究所編集委員会が投稿を認めたもの。
- 5 原稿の提出
 - (1) 原稿の提出締切日は、編集委員会の定めるところとする。
 - (2) 原稿は、必要事項を記入した『東西学術研究所紀要』投稿カードを添えて、編集委員長に提出する。
 - (3) 原稿は、紀要執筆要領にそって作成し、原本1部とデータを提出する。
 - (4) 原稿には、必ず「英文タイトル」と英文要旨（600ワード以内）を添付する。なお、英文への翻訳を希望する者は、和文要旨（400字程度）を添付する。
 - (5) 和文以外の原稿は、和文によるタイトルと要旨（400字程度）を付すものとする。
 - (6) 掲載許可等の著作権処理は投稿者が行い、申請するときは、国立情報学研究所による電子化・公開についての許諾も得ること。
- 6 掲載の手続き
提出された論文については査読が完了し、承認されたものを掲載する。
- 7 校正・印刷の体裁
 - (1) 校正は投稿者が行い、原則として再校までとする。
 - (2) 印刷体裁は編集委員会が決定する。
- 8 電子化による公開
紀要に掲載された論文、資料等は、基本的にすべて、国立情報学研究所による電子化・公開並びに東西学術研究所ホームページに電子化・公開することを許諾したものとする。
- 9 その他
その他必要な事項は、編集委員会に諮り定める。

附 則

この要領は、東西学術研究所運営委員会の議を経て平成20年7月28日から施行する。

附 則

この要領（改正）は、東西学術研究所運営委員会の議を経て平成26年4月30日から施行する。

以 上